

(報道発表資料)

2024 年 11 月 12 日

株式会社 BONX

NTT ソノリティ株式会社

東日本高速道路株式会社

セーフィーベンチャーズ株式会社

NTT ソノリティが追加出資により BONX を子会社化。NEXCO 東日本、セーフィーも資本参加し、国内外の現場 DX を牽引



株式会社 BONX(本社:東京都中央区、代表取締役:宮坂 貴大、以下「BONX」)、NTT ソノリティ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:坂井 博、以下「NTT ソノリティ」)、東日本高速道路株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 由木 文彦、以下「NEXCO 東日本」)、セーフィー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長 CEO:佐渡島 隆平、以下「セーフィー」)の 4 社は、それぞれの持つアセットを結集し、様々な現場業務向けのデジタルソリューションの間口を広げ、現場 DX の事業を加速してまいります。

この度、「世界は僕らの遊び場だ」を掲げて現場コミュニケーションのワンストップソリューション「BONX WORK」を展開している BONX は、株式の過半数取得により NTT ソノリティの子会社になりました。さらに

今回のラウンドには、NEXCO 東日本、セーフイーの CVC であるセーフイーベンチャーズ株式会社も新規投資家として参画しています。BONX、NTT ソノリティ、NEXCO 東日本、セーフイーの各社が持つ独自技術やノウハウ、様々なアセットでデスクレスワーカーの課題解決に向け連携を強化してまいります。

背景と目的

建築土木、医療介護、小売流通、宿泊、飲食などの現場で働く人々「デスクレスワーカー」は日本国内だけで 4,000 万人いると言われていますが、人手不足の深刻化、現場のひっ迫といった課題が昨今顕在化してきています。さらに 2025 年には日本の人口に占める高齢者の割合が 30%に近づき、課題は深刻化することが予想されています。このままでは世界に誇るクオリティを持つ日本の「現場」を維持することができません。デジタル技術を活用して現場業務を変革する「現場 DX」はまさに国家的なアジェンダとなりつつあります。

BONX は音声コミュニケーションを軸に現場 DX を推進してきましたが、近年生成 AI の登場に伴い音声インターフェイスへの期待は高まっています。同僚だけでなく AI とも声で自然にやりとりをしながら現場業務をより効率的に進め、現場労働の付加価値を向上させていくという未来が期待されています。その未来をいち早く実現するために、2024 年 4 月から BONX に資本参加している NTT ソノリティは、BONX に追加出資をして子会社化することを決断しました。国内最大級の研究機関である NTT の研究所から生まれた NTT ソノリティの音響技術と、IT・通信事業者である NTT グループの様々な知見をさらに活用して事業を加速します。

NEXCO 東日本とセーフイーも新規投資家として参画します。

国内屈指のインフラ事業者である NEXCO 東日本が高速道路の維持・管理・運営を行うなかで培ってきたノウハウを活用し、現場のニーズにあった製品開発やソリューションの提案に繋がっていきます。

そして、クラウド録画サービスシェア No.1(※1)のセーフイーと共に、「映像 = 目」と「音声 = 耳」を融合したソリューションを共同開発していきます。



NTT ソノリティ・NTT グループ、NEXCO 東日本、セーフイーの各社が持つ力を結集し、BONX は国内 No.1 を目指すだけでなく、現場業務向けのデジタルソリューションをさらに海外にまで展開することを目指します。

（※1）テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2023）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.1％）

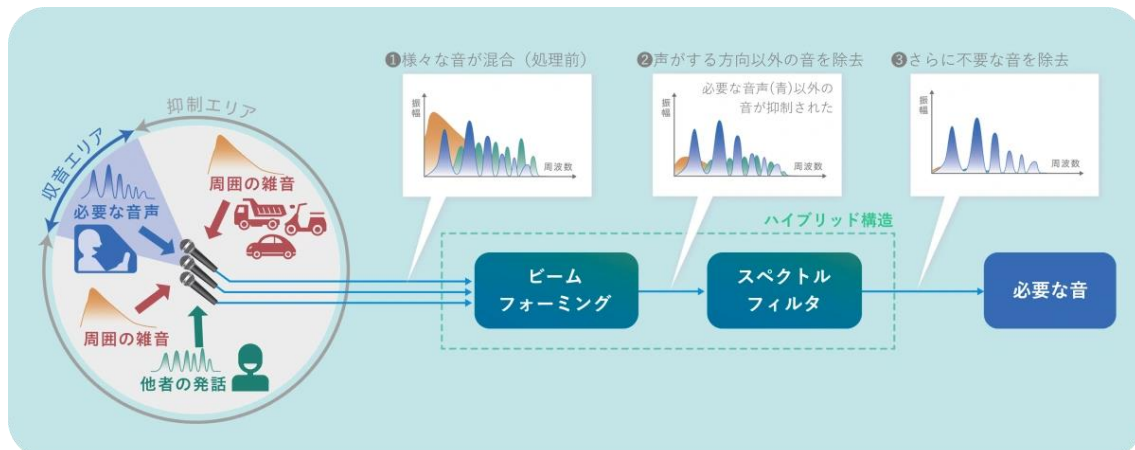
今後の具体的な展開

■ NTT の独自技術を搭載した新たな製品開発

今年 4 月に NTT ソノリティと BONX は共同開発でオープンイヤー型イヤホン「BONX intro knot」を発売。さらに年内には、デスクレスワーカーが働くあらゆる環境に対応できるコミュニケーションデバイスとして開発された「BONX Stick」の発売を予定しております。



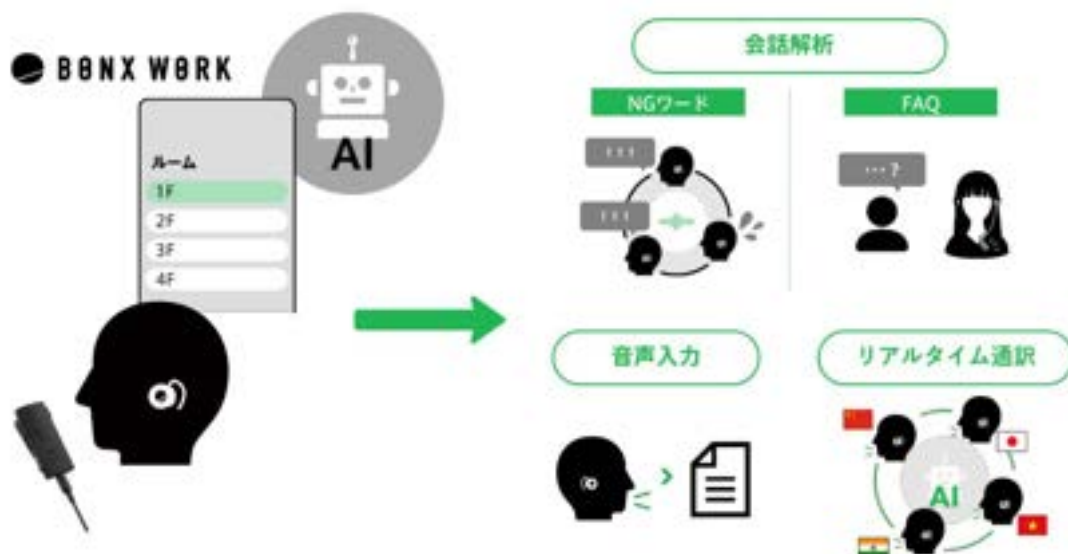
BONX Stick はスマートフォンと Bluetooth®接続された本製品を胸元に装着し、有線タイプのイヤホンを本体に差し込んで使用する形になっています。これにより、耳への負荷の軽減、バッテリーの増強、共有端末としての利便性の向上を実現しました。本製品には周囲の音をカットして話者の声だけを届ける NTT の特許技術(※2)を搭載。建設現場などの騒音下や BGM の大きい店内などにおいて快適なコミュニケーションが可能となります。



(※2) NTT コンピュータ&データサイエンス研究所が開発した技術です。

■ AI 等を活用したソリューションの順次拡大

AI 技術の進化によって実現可能なことの幅は飛躍的に広がりました。現場 DX を推し進めていくには、AI の活用が必要不可欠です。BONX と NTT ソノリティは、デスクレスワーカーの耳元に常にいる「音声インターフェイス」としての立ち位置を活かし、会話解析や音声入力による記録作成、リアルタイム通訳などのソリューションを順次展開してまいります。

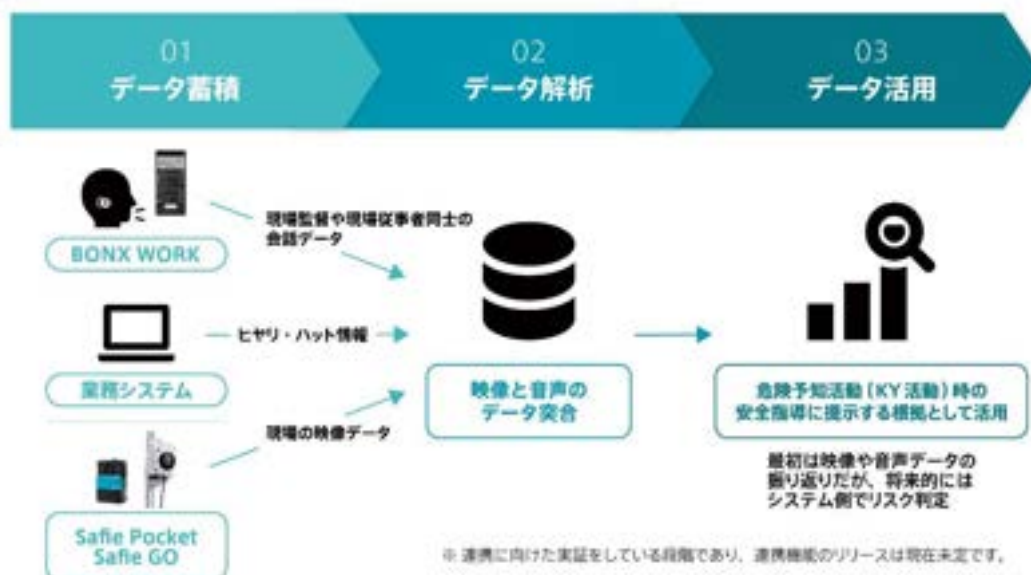


■ インフラ事業者への展開

NEXCO 東日本は、営業延長 3,943km の高速道路の維持・管理・運営や、四車線化を含む約 320km の建設において、安全管理の高度化や業務の効率化を推進しています。そのため、屋外、騒音といった様々な現場環境下におけるデスクレスワーカーのニーズを的確に反映させ、画像や音声、AI との連携などを活用した現場向け DX ソリューションを提案していきます。

■ セーフイー連携

クラウドカメラ「Safie(セーフイー)」とは、映像と音声を融合したソリューションを共同で開発しています。映像データと音声データを組み合わせ、意思決定に必要な情報をスムーズに取得し、業務改善を促進できます。



例えば、建設現場の危険エリア内を映した「Safie」カメラの映像データと、BONX から取得した現場監督や現場従事者同士の会話データ、ヒヤリ・ハット情報などを紐づけることで、危険予知活動(KY活動)時の安全指導に提示する根拠として活用したり、振り返り時の原因分析に活用したりすることが可能になります。これにより、事故の防止対策や管理の効率化を実現します。

■ 各社コメント

<株式会社 BONX 代表取締役社長 宮坂 貴大>



創業 10 年という節目のタイミングで、NTT ソノリティ・NTT グループという強力な事業パートナーとの関係を一層強固なものとし、さらに NEXCO 東日本とセーフィーという各分野のリーダーを新たにパートナーとして迎え入れられたことを本当に嬉しく思っていますし、各関係者の皆様には心から感謝しています。

素晴らしいプロダクトを作ってあらゆる現場で笑顔を増やして行きたいという思いで取り組んできたこの事業ですが、この数年で「現場 DX」への関心が飛躍的に高まり、音声インターフェイスを提供する我々に求められることも大きく変わってきていると実感しています。

現場に対する深い理解と最新のテクノロジーを扱いこなすスキルや知識、スタートアップの機動力と大企業の豊富なアセット、そして想いを持った人々。こうしたものを組み合わせないと現場 DX は進んでいきませんが、一社で全てを揃えるのは困難です。今後もビジョンに共感する仲間を増やしてこのアライアンスを拡大しながら様々な業界をリードし、そして世界にも打って出て行きたいと考えております。進化する「チーム BONX」の今後にご期待下さい。

<NTT ソノリティ株式会社 代表取締役社長 坂井 博>



今回の出資で BONX と NTT グループはより強固な関係になります。BONX はデスクレスワーカーのスマートなコミュニケーションツールとして、すでに様々な業界の様々な現場に浸透していますが、今後は当社のデバイスと BONX のソフトウェアをより高いレベルで有機的に連携させ、ストレスがない快適な UI/UX を追求してまいります。そして、私たちが見据えているコミュニケーションの先にある未来(=現場 DX)をより皆様に実感していただけるような、業界ソリューションとの連携を BONX とともに進めてまいります。ご期待ください！

<東日本高速道路株式会社 取締役 兼 常任執行役員 サービスエリア・新事業本部長 吉見 秀夫>



騒音などの厳しい環境下でも快適にコミュニケーションが取れる BONX は、当社事業との親和性、適用性が高いと考えております。また、今後、現場で働く「人」の重要性はさらに高まり、その方々へ快適なソリューション

ンを提供したいという BONX とは想いを同じくしています。今後、担い手不足が大きな課題となるインフラの建設・管理の現場に、安全管理や業務効率化に役立つ現場の DX ソリューションを拡大させ、デスクレスワーカーの負担軽減と働き方の改善に寄与することで、様々な社会課題解決の一助となるものと考えておりますのでご期待ください。

<セーフイー株式会社 代表取締役社長 CEO 佐渡島 隆平>



宮坂さんとは 2014 年の創業したタイミングや IoT を創っている共通項があり、仲間としてとても尊敬しています。僕も BONX のプロダクトは大好きで、実際に使ってみてその素晴らしさを実感しており、社内のメンバーにも勧めた結果、出資に向けた話し合いを始めました。風切り音のノイズキャンセルやクリアな音声、使い勝手の良い UI/UX など、多彩な機能が揃っており、“現場 DX”を目指す皆さんにとっても役立つと思います。また、今回の出資に関わっている NTT グループ様、NEXCO 東日本様は当社の重要なパートナーであり、日本の 8 掛け社会に向けたアナログ規制緩和・撤廃を基に、4 社で新しい世界を切り開いていけると信じています。“目”と“耳”を持った LLM を介し、マルチモーダルな AI を活用できるこの時代だからこそ、“現場 DX”ソリューションをしっかりと作っていきたいと思っていますのでご期待ください。

■ 会社紹介

株式会社 BONX

いつでもどこでも声でつながる現場コミュニケーションのワンストップソリューション「BONX WORK」を提供しています。グループトーク、ライブ配信、テキストチャット、録音/文字起こしなど、現場で働く「デスクレスワーカー」に必要な機能が揃っています。ハードウェアとソフトウェアをセットで開発・提供することで、現場業務に最適化された UX を実現。高品質な音声コミュニケーションから現場 DX を支えます。

<https://bonx.co/>

NTT ソノリティ株式会社

最先端の音響信号処理技術を用いて音響関連事業を行う会社として 2021 年 9 月 1 日に設立されました。「音のテクノロジーで心を動かし、新しいスタンダードを作っていく。」というパーパスのもと、音を仕分ける・音

を閉じ込める・特定の音を見つけ出す、の 3 つの技術を使い、ビジネスやプライベートなどさまざまなシーンで一人ひとりに快適な音響空間を実現する製品やサービスを提供しています。2022 年、音響ブランド「nwm(ヌーム)」を発表。音を操る 2 つのコア技術を軸に約 2 年で 5 製品の音響デバイスを生み出し、耳の課題、QOL の向上に大きく貢献。イヤホンなのに、まるでスピーカーのような新体験、耳スピーカー「耳スピ」の展開により、音の技術で世の中の課題を解決する音響ブランドへ成長しています。<https://ntt-sonority.com/>

東日本高速道路株式会社

NEXCO 東日本グループは、東日本地域における高速道路の管理事業、建設事業、サービスエリア事業および高速道路関連ビジネスを行っています。また、2021 年より高速道路会社としては国内初となるアクセラレータープログラム「ドラぶらイノベーションラボ」を実施し、次世代の高速道路サービスの実現や地域の活性化、社会課題を解決するような事業の創出を目指しています。当社は、地域と地域をつなぎ、お客さまの「安全・安心・快適・便利」を支えてきました。これらに加えて、さらに、ヒト・モノ・コトの移動に「新しい価値」をご提供し、サステナビリティのある運営を目指します。

<https://www.e-nexco.co.jp/corp/>

セーフィー株式会社

「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。我々は「映像データであらゆる産業の”現場”を DX する」というビジネスコンセプトを掲げ、小売り、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場の DX を率先して推進しています。

<https://safie.co.jp/>

報道関係者様のお問い合わせ先	「NTT ソノリティ」広報事務局（KMCgroup 株式会社内） 担当:湯原、関口 TEL:03-6261-7413／FAX:03-6701-7543／ E-MAIL: info@kmcpr.co.jp
その他 NTT ソノリティに関するお問い合わせ先	NTT ソノリティ株式会社 マーケティング＆コミュニケーション G 広報担当 E-MAIL: sonority-pr@ntt.com